

## 2年生課題研究中間発表会

☆日時 平成31年 2月13日(木) 5・6限

☆会場

文型会場	研究分野	理型会場	研究分野
多目的	国際 人文科学	1-1	生物班 スポーツ科学
3-8	人文科学	1-2	化学班① 環境化学
3-9	社会科学	1-3	化学班② 生活化学
選択 IV A	社会, スポーツ・自然	1-4	化学班③ 化学
教室 IV B	スポーツ・自然	1-5	数学・情報班
		1-6	物理班① 物理
		1-7	物理班② 建築
		1-8	物理班③ 工学
		1-9	トヨタ自動車ものづくり課題研究、車

一年生は来年度へのテーマ探しに生かそう！  
二年生はアドバイスをたくさんもらおう！



昨年の様子

Close up!!

### トヨタものづくり課題研究では、わくわくワールドに出品した車を展示します！

#### 展示車① Magical J



- ・Magical J は魔法の絨毯型のモビリティです。ゆらゆらと揺れながら動く車体と繊細な動きでまるで浮いているような感覚です。ランプで操縦することができます。
- ・ランプにカメラをかざすと、妖精が飛び出してきます。またモビリティの操縦の仕方も特徴的なので、ぜひ見ていただきたいです。

その道のプロの方々と一緒にモノづくりをするのは、とても貴重な体験になりました。またこのような機会があれば参加したいです！



#### 展示車② Conexion



- ・「Conexion」はスペイン語でつながりを意味する車です。
- ・2台の車が合体します。未来でつながる楽しい車を作りました。
- ・見てもらいたいところは、車のデザインと運転席です。ぜひ運転席に座ってみてください。

このプログラムに参加して、エンジニアの真剣な眼差しを目にすることができ、自分の進路を考える上でも大きな刺激を受けました！このプログラムを企画して下さいましたトヨタ自動車の方には本当に感謝しています。

業後には試乗会もあります！！



## 今月の科学！

### 日本が捕鯨を再開！？



2018年12月、日本政府が国際捕鯨委員会(IWC)からの脱退を表明した。この脱退をきっかけに、今年から33年ぶりに捕鯨が再開されることになる。そして、今、捕鯨について国際論争が繰り広げられている。

捕鯨には、2種類ある。調査捕鯨と商業捕鯨だ。鯨の生態などを調べる調査捕鯨は、今までも行われてきた。今回再開されることになったのは、鯨肉や鯨油などが食品や製品に利用される商業捕鯨だ。この商業捕鯨について、賛成派は、捕鯨には「伝統」があると主張する。一方、反対派は、捕鯨は「残酷」であると主張する。

まず、「伝統」という観点から考えてみよう。日本は長い間、捕鯨と親しんでいた。それは鯨に対する信仰心からくるものだ。日本人は、鯨を油や肉だけではなく、骨やひげ板まで、すべて捨てることなく利用してきた。日本人は、他の豚や牛を食べる時に感謝するように、鯨に敬意をはらって接しているのだ。対して、「残酷」であるという意見はどうだろう。鯨は哺乳類に分類される。つまり、人間と同じ種類に分類されることになる。人間と同じような鯨を殺すことに心を痛めることはないのか。さらに、捕鯨の方法は、鯨に極度の苦痛を与えるものである。国際論争がなされる捕鯨問題。あなたはどのように考えるだろうか。



調査捕鯨で北海道・釧路港に水揚げされたクジラ =2017年9月  
写真提供：共同通信社